

データサイエンス学科 ディプロマ・ポリシー

データサイエンス学科では、情報科学部ディプロマ・ポリシーに基づき、専門学術の基礎と実践力を継承できるよう、学科として下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定する。

- (A) 情報技術およびデータの収集・分析から得られた成果の活用が人や社会および自然等に及ぼす影響を理解し、それらの改善に取り組むことができる。〔データサイエンスの活用が社会に与える影響を理解する能力〕
- (B) 社会システムの発展・改良に向け、広い視野および倫理的な視点から判断し、行動できる。〔広い視野および倫理的な視点からの判断力と行動力〕
- (C) 情報技術および統計分析に関連する基礎知識を有しており活用できる。〔知識の活用力〕
- (D) 課題の背景を理解する能力を有しており、データの収集・分析に基づいた問題解決ならびに価値創造を提案することができる。〔問題解決や価値創造を提案できる能力〕
- (E) 自分の考えを論理的かつ正確に伝え、かつ、相手を理解するために必要なコミュニケーション能力を有し、他者と協働して活動することができる。〔他者と協働して活動できる能力〕